

全体取りまとめ（番号区分順）①

若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進	地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大	記載内容	部会	自然増・社会増の区分	くくり	記載のあった番号
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				
①		③							⑩						勤労者世帯(子育て世帯)への支援拡充。(町内学校の制服、指定ジャージの助成、教科書の支給、15歳未満の医療費助成)	経済	自然増		1.3.10
①			④												近隣市町村から美幌町へ仕事に通う人への、美幌への定住支援。引越費用の助成や一定期間の家賃助成。	民生	自然増	住居支援	1.4
①							⑧					⑬			Iターン、Uターン、若者への定住促進金、定住促進住宅。	教育	社会増	若者、雇用、定住	1.8.13
①												⑬			住宅支援。	教育	社会増	若者、雇用、定住	1.13
①															美幌地域での職場、仕事が少ない。報酬、所得も少ない。若い世代の雇用の確保対策が必要。若い世代が住みづらい。	建設	自然増		1
①															若い世代の定住支援。家賃補助など。	建設	自然増		1
①															高校生までの医療費無料化。	教育	自然増	子育て、出産	1
①															子育て納税で経済的支援。	経済	自然増		1
①															農業で若い人の雇用の場をつくる。	経済	自然増		1
①															若いカップル(夫婦)への住居費支援(家賃等助成)。	民生	自然増	住居支援	1
①															就職、転職に祝い金を出す。(美幌のご当地食材を毎月プレゼント)	民生	自然増	しごと祝い金	1
①															女性の働ける産業をつくる。若い女性が働く企業と起業を応援する。	民生	社会増	産業(女性)	1
①															結婚形態に関する時代の変化について理解を深める。	総務	自然増		1
①															未だに男女の交流の場がない様子が散見される(ので場をつくる)。昔は地域での青年団活動などがあった。	総務	自然増		1
①															産みやすい環境の充実。(産婦人科、婦人科の充実)	総務	自然増		1
①															子どもの教育の充実。	総務	自然増		1
①															家族とのコミュニケーションをとる時間の増加。(残業が少なくなる等)	総務	自然増		1

全体取りまとめ（番号区分順）②

若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進	地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大		記載内容	部会	自然増・社会増の区分	くり	記載のあった番号
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯					
	②	③											⑭			出産・子育て支援。（幼保、小中、地元高校）。出産費用は支援があるが、育てるための費用の支援を。※教育環境の充実。	教育	自然増	子育て、出産	2,3,14
	②	③														子ども医療費。	教育	自然増	子育て、出産	2,3
	②															産婦人科の設置。	建設	自然増		2
	②															出産の一時金や、その後の医療助成の拡大。	建設	自然増		2
	②															産婦人科医の確保。子どもに対する医療費控除年齢を上げる（現在は3歳までとなっている）。せめて小学校入学前位までにしてほしい。	建設	自然増		2
	②															美幌町で安心して出産、子育てができる環境をつくってほしい	建設	自然増		2
	②															産婦人科医の確保。（2）	教育	自然増	子育て、出産	2
	②															子育て&出生費用のさらなる援助。	教育	自然増	子育て、出産	2
	②															安心して子育てができる環境。（産婦人科は、あった方がいい	経済	自然増		2
	②															出産や子育てへの特別祝金。	民生	自然増	子育て世代の経済的支援	2
	②															病院代の負担の年齢を幅広くする。	民生	自然増	子育て世代の経済的支援	2
	②															子育てする中で教育費の支援。	総務	自然増		2
	②															社会保障の充実。	総務	自然増		2

全体取りまとめ（番号区分順）③

若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進	地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大	記載内容	部会	自然増・社会増の区分	くくり	記載のあった番号
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				
		③													保育士の賃金を上げ、保育士を増やすことにより、保育園が足りない状況を改善する。	建設	自然増		3
		③													町所有の空施設、活用されていない施設を利用して、あるいは民間施設を借り上げて保育園とし、待機児童をなくし、両親が安心して仕事、暮らし、子育てできるような支援をする。	建設	自然増		3
		③													美幌町で子どもを生んだり育てたりするメリットが必要。	建設	自然増		3
		③													子育て支援、産み育てやすい環境づくり。	建設	自然増		3
		③													放課後児童クラブの設置。	民生	自然増	子育てする環境整備	3
		③													子どもを預けられる年齢を幅広くする。	民生	自然増	子育てする環境整備	3
		③													子ども支援をしているがPR不足。	民生	自然増	子育てする環境整備	3
		③													学童支援を高学年まで支援。	民生	自然増	子育てする環境整備	3
		③													女性の働きやすい環境づくり。	民生	自然増	子育てする環境整備	3
		③													保育料を安くして、経済的負担を援助する。	民生	自然増	子育て世代の経済的支援	3
		③													子育て世代への経済的支援。（第3子以降のお祝い金、医療費助成の拡大）	民生	自然増	子育て世代の経済的支援	3
		③													子どもの医療費を中学三年生まで無償化し、子どもを産み育てやすい町にする。	民生	自然増	子育て世代の経済的支援	3
		③													出産から義務教育終了までの医療費無償化。	民生	自然増	子育て世代の経済的支援	3
		③													各自治会会館を開放し、集いの場にする。（料理、ゲーム、会話など）	民生	両方	集いの場	3
		③													若い人が定着できる仕事・職場の充実。	総務	社会増		3
		③													働く場がない！！	総務	社会増		3

全体取りまとめ（番号区分順）④

若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進	地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大		記載内容	部会	自然増・社会増の区分	くくり	記載のあった番号
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯					
			④													仕事と生活の両立。企業に対し休みがとれるように促す。（介護、孫の世話、ボランティア、子どもの用事）	教育	自然増	安心なくらし	4
			④													産休、育休をとりやすくする。企業への奨励金など。	民生	社会増	産業(女性)	4
			④													人口減→働き手が減→共働きを増やす。	総務	社会増		4
			④													若い世代の移住促進→子育て環境、仕事。	総務	社会増		4
			④													社会の機能を一部地方へ。(リフレッシュする)	総務	社会増		4
				⑤							⑫					美幌峠に次ぐ、観光施設の設置(アスレチックコース、プラネタリウム、ドッグランフィールド)。町民も観光客も寄れる「まちの駅」があると良いのでは。	経済	社会増		5,12
					⑥						⑫					子育て世代版の就労センター開設。(託児所を隣接し、農工商関連企業の求人に対応。パート対応含む。託児所は行政、企業および該当者の負担をもって運営する)	経済	社会増		6,12
					⑥											核となる産業の発掘と成長。美幌の特産品を加工する施設と連携。	教育	社会増	若者、雇用、定住	6
						⑦										郊外に住んでいる高齢者への、交通費の補助(タクシー代など)。	建設	社会増		7
						⑦										ひとり暮らしでも安心！！定年後は親と住む。(実家に帰る)。そのためのリフォーム、バリアフリーの費用を補助する。	教育	自然増	安心なくらし	7
						⑦										高齢者が安心してらせる終末施設をつくる。(ケアハウス、グループホームなど)	民生	両方	集いの場	7
						⑦										高齢者と子どもと女性が共生できる、支え合える拠点施設をつくる。	民生	両方	集いの場	7
							⑧						⑭			(小学校ぐらいから)特定分野に特化した教育(IT、観光など。美幌に来たら学べる)→研究室、塾、寮など。	経済	両方		8,14
							⑧									空き家や老朽化による景観悪化。取り壊し費用やリフォームの際外壁の修繕をすれば補助金増額など。北見のように都市化するのではなく現状の景観を向上させて近郊にはない魅力の創出。	建設	自然増		8
							⑧									子ども、障がい者、老人の複合型施設。複合型施設にすることで、人材が少なくて済む。	民生	両方	集いの場	8

全体取りまとめ（番号区分順）⑤

若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進	地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大		記載内容	部会	自然増・社会増の区分	くくり	記載のあった番号
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯					
									⑩	⑪	⑫					企業、起業支援。	教育	社会増	若者、雇用、定住	10,11,12
									⑩		⑫					雇用の創出と就労の拡大。	教育	社会増	若者、雇用、定住	10,12,15
									⑩							企業への雇用促進援助。	教育	社会増	若者、雇用、定住	10,15
									⑩							仕事を探している人に、就職先と住宅のセット提供。	教育	社会増	若者、雇用、定住	10,15
									⑩							美幌町での住宅建設・購入、土地購入に対する助成。	民生	自然増	住居支援	10
									⑩							（町の中心部に）道の駅。美幌駅前倉庫群の活用で、働く場所の確保。	民生	両方	集いの場	10
									⑩							大企業を美幌に呼び、若者の働く場所をつくる。	民生	社会増	産業	10
									⑩							就農者への助成、土地などの貸付。	民生	社会増	産業	10
										⑪	⑫					（都会の人を移住のターゲットと考えると）IT環境の整備。（企業移転など）	経済	社会増		11,12
										⑪						IT化や国際化に向けた多言語情報の発信。その他地元の企業への発信支援。	経済	社会増		11
										⑪						とにかく美幌の産業を元気にする。産業支援。	民生	社会増	産業	11
										⑪						空店舗の利用。駐車場の確保。（新しい店舗ができて駐車場が狭い、あるいは店をやりたいけれども駐車場がなく、出店意欲が出ないということがある）	民生	社会増	産業	11
											⑫	⑬				地方が集まって、都市で田舎暮らしセミナーを開催＆マーケティングする。（地方ブースを都市に置く）	経済	社会増		12,13
											⑫					雇用対策。働く場の創出。	建設	社会増		12
											⑫					企業への人材育成の支援。	建設	社会増		12
											⑫					奨学金を活用した学生（卒業後地元で働く学生）の奨学金返還を支援。	教育	社会増	若者、雇用、定住	12
											⑫					地産地消を基本とした（企業）町づくり。農業、林業など。	経済	社会増		12
											⑫					1次産業が盛んなので、さらに一歩踏み込んで、移出する前に当町で加工して出荷すれば仕事や経済が潤う。職場も増え、人口が増える。	民生	社会増	産業	12
											⑫					雇用促進のための企業、事務所への補助金。職員数増、女性の雇用のための施設整備。	民生	社会増	産業	12

全体取りまとめ（番号区分順）⑥

若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進	地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大	記載内容	部会	自然増・社会増の区分	くくり	記載のあった番号
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮					
												⑬			子育て世代の地方移住の推進。	教育	社会増	若者、雇用、定住	13
												⑬			移住促進。（自然の中でのいやしをつくる。生活空間。）	経済	社会増		13
												⑬			（比較的）安全とされる環境地域であることをPRして移住をしてみよう。	経済	社会増		13
												⑬			巨大な公園。小さな公園をポツポツつくるよりも、大きな魅力的な公園をつくる。	民生	両方	集いの場	13
													⑭		高校の間口を維持する。（平成30年～3減）。逆に増やす！！	教育	社会増	若者、雇用、定住	14
													⑭		教育の充実。専門学校の教育の充実→生徒の増加→職員の増加→経済が潤う。	民生	社会増	教育	14
													⑭		専門高校。地産地消の料理学校。空店舗を利用しての実施販売で人材育成。	民生	社会増	教育	14
													⑮		宿泊施設の誘致。	教育	社会増	若者、雇用、定住	15
													⑮		1次産業から加工施設（いろいろな特産品加工の一元化）。そこで雇用を拡大、世界へアピール。世界の人口70億が加速し100億にすぐなる。	教育	社会増	若者、雇用、定住	15
													⑯		近隣の街、地方からでも美幌に移住し、安心して子育て、出産ができるまちづくり対策を。	建設	社会増		16
													⑯		自衛隊の存続、拡大。	建設	社会増		16
													⑯		移住、定住には、「美幌に住む理由」が必要。	建設	社会増		-
													⑯		学校の誘致。（大学、専門学校など）。英才教育を受けられる、天才児を育てられるまち。	建設	社会増		-
													⑯		結婚！！（結婚相手を探すことを促進する）	教育	自然増	安心な暮らし	-
													⑯		外国人の呼び込み。	教育	社会増	若者、雇用、定住	-
													⑯		図書館を軸にした町（商店街）づくり。定期的な集客があり、不動産価値を上げる。	経済	社会増		-
													⑯		行政と民間が共同で「街コン」を毎年4回以上（春夏秋冬で）開催する。	民生	両方	集いの場	-
													⑯		ポイント制度（ナルク）。若い時ためて老後に使えるなど。個々の活力につながる。	民生	社会増	ポイント制度	16

全体取りまとめ（番号区分順）⑦

若い世代の経済的安定	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	子ども・子育て支援の充実	仕事と生活の調和の実現（働き方改革）	中山間地域等における「小さな拠点」（多世代交流・多機能）の形成	地方都市における経済・生活圏の形成	安心な暮らしの確保	人口減少等を踏まえた既存ストック（空き家・施設等）の強化	住民が地域防災の担い手となる環境の確保	地域経済雇用戦略の企画・実施体制の整備	地域産業の競争力強化	地方への人材環流、地方での人材育成・雇用対策	地方移住の推進	地方教育機関（高校・大学等）の活性化	企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大		記載内容	部会	自然増・社会増の区分	くくり	記載のあった番号
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯					
																人間は基本的に「生活にゆとりがあるか・ないか、生活できるか・できないか」を考える。「その町で生活できるか」が重要。	教育			-
																結婚で呼び寄せれば社会増、子どもが産まれれば自然増。自然増・社会増の線引きが難しい。	教育			-
																まず、社会増があって、自然増につながる。	経済	社会増		-
																若い世代、子育て世代はお金がかかる。経済的支援をすることで、若い世代、子育て世代が「自分達も美幌に貢献しよう」と思う。	民生	自然増	子育て世代の経済的支援	-
																お金をかけた分だけ、美幌町に良い後継者が残る。	民生	社会増	産業	-
																結婚相手が見つからない。	総務	自然増		-
																昔から見ると、子育ての環境は充実している。	総務	自然増		-
																結婚する生活力（収入面）。	総務	自然増		-
																個人のニーズが多様化している。	総務	自然増		-
																農業の世帯数が減少してきている。（第1次産業）	総務	自然増		-
																恩がえしのまちづくり（子育てを手伝ってもらう→その人が年をとったら除雪を手伝う）。	総務	自然増		-